桑名市公共施設等総合管理計画
第１次アクションプラン
（個別施設計画）
【概要版】

～未来をひらく桑名のまちづくり～

本物力こそ桑名力

平成29年３月

令和3年3月改訂

桑　名　市

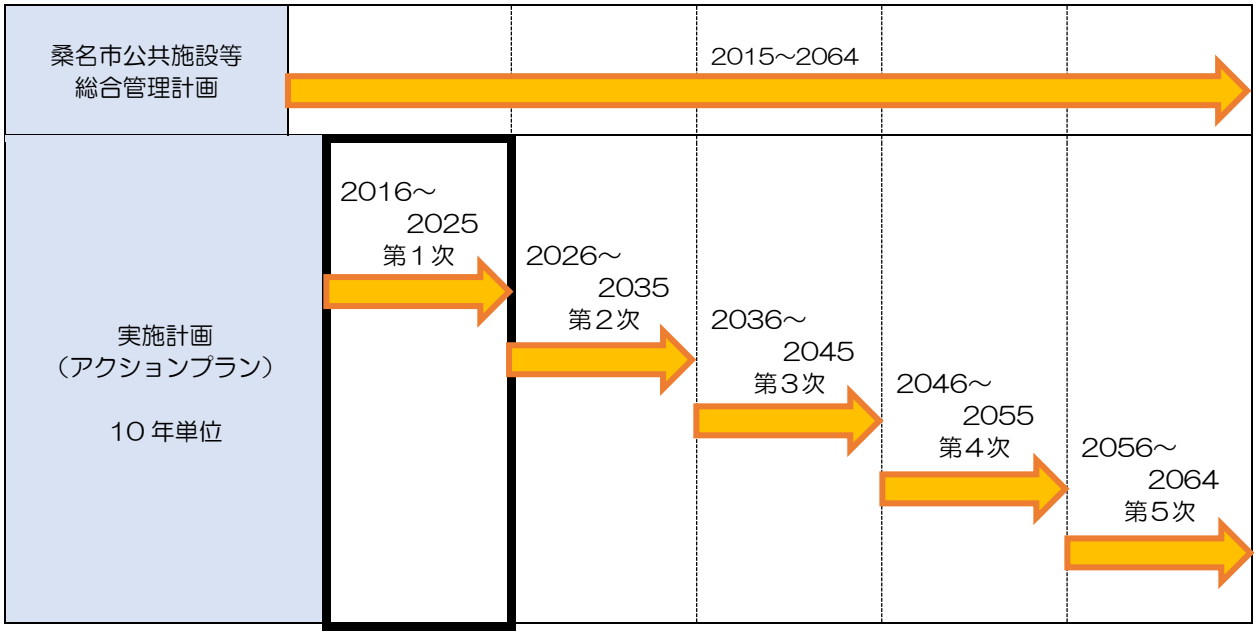
第１章　第１次アクションプランの概要

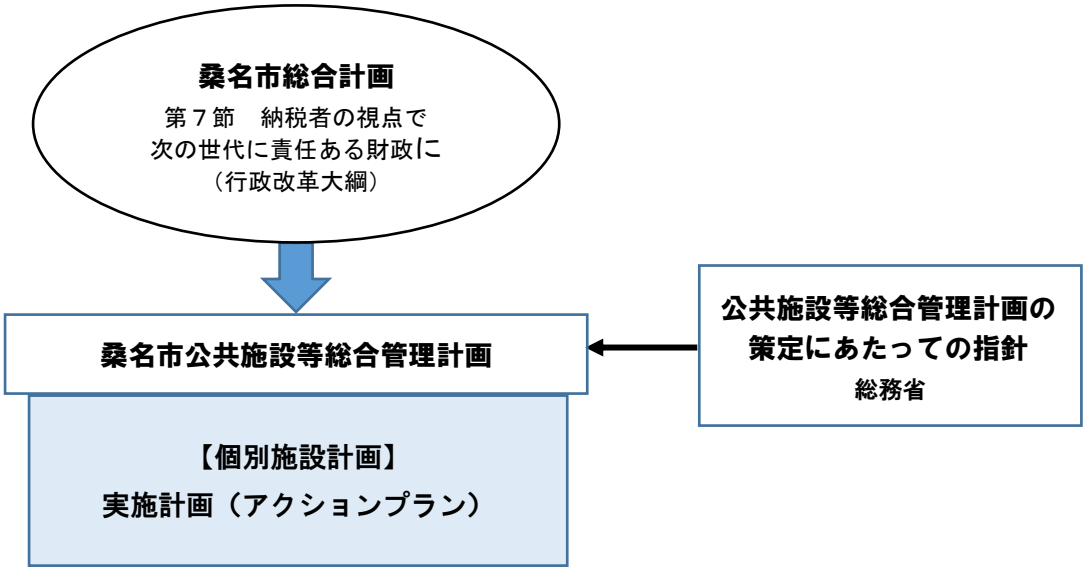
✧　概　要

- 老朽化が進む公共施設等に対して多額の維持修繕、更新費用が発生
- 人口減少等による施設に対するニーズの変化
- 厳しい財政状況

↓ 公共施設等の総合的、計画的な管理が必要

「桑名市公共施設等総合管理計画」及び「第１次アクションプラン」の策定

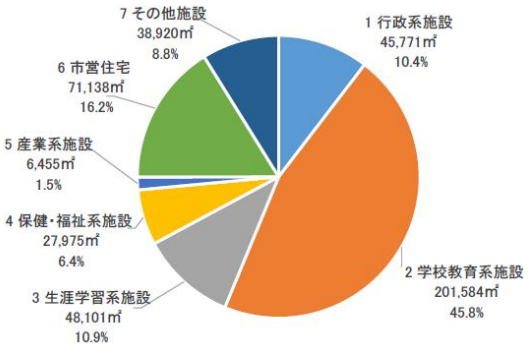


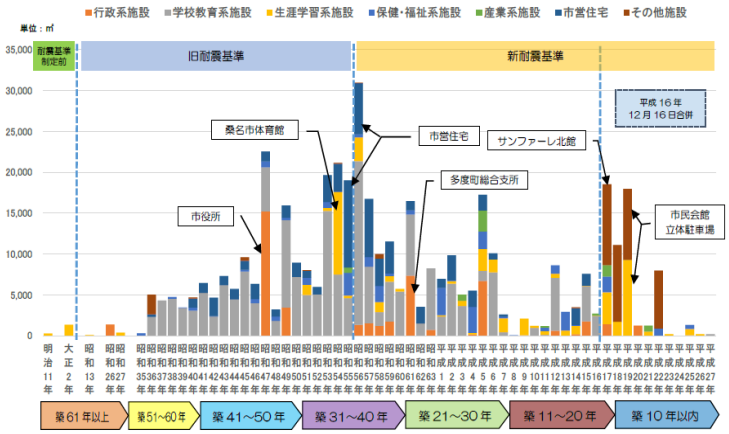


✧　現　状

施　設

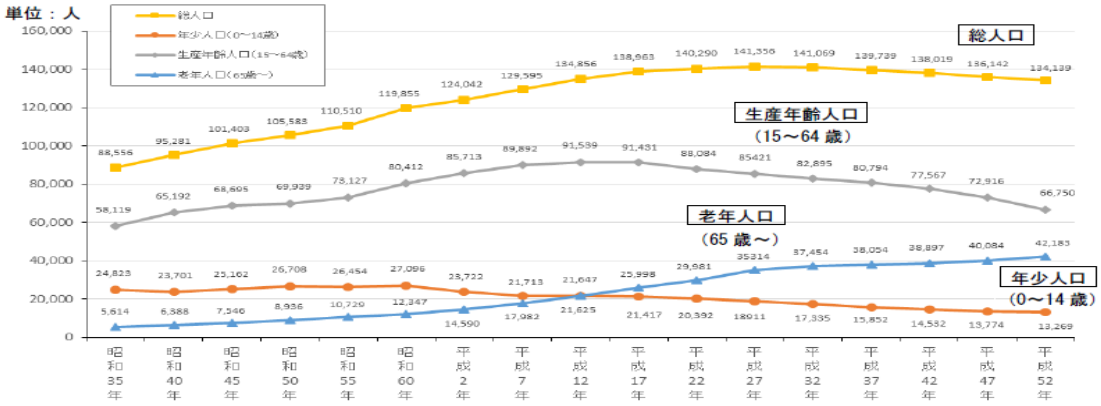
・対象施設数：２３４施設、延床面積：４３９,944 ㎡
・主な床面積割合：学校教育系施設 約４５%、市営住宅 約１６%
・昭和４０～５０年代の建築が多い





人　口

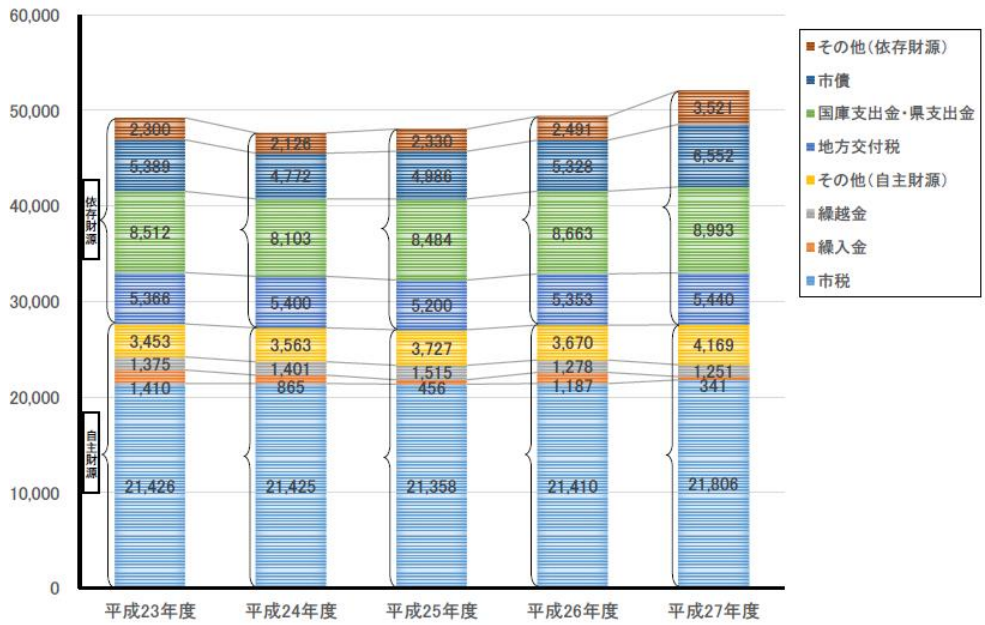
・総人口は平成 27 年をピークに減少に転じる
・生産年齢人口、年少人口は減少するが、老年人口は増加



財政状況

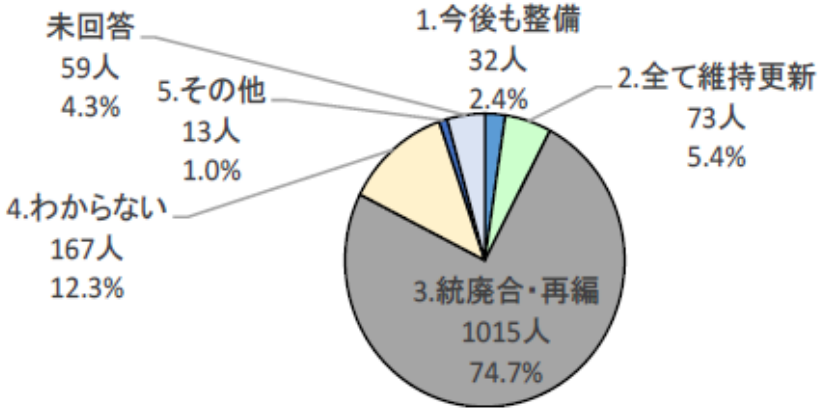
・義務的経費のうち、人件費については、退職手当等の減少により平成 27 年度は大幅に減少していますが、扶助費と公債費については毎年増加傾向にあります。
・投資的経費は毎年 30 億円台で推移していましたが、平成 27 年度は、桑名市土地開発公社の解散に向け、公社保有地の事業化（買い戻し）を実施したことにより大幅に増加しています。
・物件費や補助費等は、ほぼ横ばいとなっています。

【歳出の推移（単位：百万円）】



✧　アンケート結果の概要

平成 27 年 10 月から 11 月にかけ、本市に在住する 20 才以上の市民 3,000 名（無作為抽出による）を対象に「公共施設等に関する市民アンケート」を実施したところ、1,359 名から回答をいただき、約 75%の方が「公共建築物（ハコモノ）の統廃合・再編を行うべきである」と回答しています。



✧　基本原則

- 公共建築物（ハコモノ）に関しては、更新費用不足額と将来の人口減少を踏まえ、今後 50 年間（平成 27～76 年度）で、総量（延床面積）の 33%を削減します。
- 公共建築物（ハコモノ）の更新等により、新規建設する場合は、総量の枠内で行います。
  なお、原則、複合施設とし、多機能化を図ります。
- インフラに関しては、更新費用不足額と将来の人口減少を踏まえ、適切な更新と維持管理に努めます。
- 公共施設等総合管理計画を推進するため、第１次アクションプランでは、平成 28 年度から 37 年度までの 10 年間で概ね 6.6%の削減を目指します。

第２章　第１次アクションプランにおける取り組み

✧　公共建築物における施設類型別の取り組み

（１）行政系施設

①　庁舎等

No	施　設　名　称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	市役所	1973	16,582	47	33	○(一部×)	Ⅱ-A-2 (Ⅳ-B-5)	14,892 (69,000)	見直し (一部削減)
2	多度地区市民センター (多度まちづくり拠点施設)	1986	7,254	34	46	○	Ⅰ-B-2	7,619 (6,600)	長寿命化
3	長島地区市民センター	1974	6,085	46	34	○	Ⅱ-D-5	4,479 (　0)	長寿命化
4	大山田地区市民センター (大山田まちづくり拠点施設)	1982	800	38	42	○	Ⅰ-D-4	883 (2,428)	見直し
5	サンファーレサテライトオフィス	2005	88	―	―	―	―	―	ファーストステップ

（庁舎等の計画、方向性）

- 市役所北庁舎は、昭和 27 年３月に建築され建物の老朽化が著しく進行しています。また、耐震性が無く、大きな地震で倒壊する危険性があることから、建物の解体撤去を行います。
- 平成 30 年４月に地区市民センター化した多度地区市民センター、長島地区市民センターは、有効活用について協議を進めます。
- 大山田地区市民センターは、消防庁舎等再編整備構想に基づき、再編整備を進めます。

②　消防施設

No	施　設　名　称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	消防本部	1993	4,986	27	53	○	Ⅰ-B-2	8,523 (38,847)	見直し
2	西分署	2006	1,306	14	66	○	Ⅰ-A-1	595 (　0)	長寿命化
3	大山田分署	1982	522	38	42	○	Ⅰ-B-2	331 (　0)	見直し
4	多度分署	2008	1,217	12	68	○	Ⅰ-A-1	619 (　0)	長寿命化
5	長島木曽岬分署	1984	659	36	44	○	Ⅰ-A-1	257 (　0)	長寿命化

（消防施設の計画、方向性）

- 消防庁舎等再編整備構想に基づき、消防本部の高台移転や老朽化している分署の移転などを進めます。
- 再編後の施設や跡地の利活用について協議を行います。

③　その他行政系施設

No	施　設　名　称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	清掃センター	2003	1,747	17	63	○	Ⅰ-A-1	3,377 (6,616)	長寿命化
2	リサイクル推進施設	2000	607	―	―	―	―	―	ファーストステップ
3	桑名市防災拠点施設	2020	596	0	80	○	Ⅰ-A-1	新規	R2　新築

（その他行政系施設の計画、方向性）

- リサイクル推進施設は、令和２年４月１日より地権者へ譲渡し、民間により運営されています。
- 新規施設として、桑名市防災拠点施設を整備し、災害発生時における物資輸送等、被害者支援の拠点施設とします。

（２） 学校教育系施設

① 幼稚園

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	精義幼稚園	1967	159	53					
2	陽和幼稚園	1987	276	33					
3	城東幼稚園	1994	246	26					
4	光風幼稚園	1977	330	43					
5	成徳南幼稚園	1986	424	34					
6	旧桑部幼稚園	1978	390	42					
7	明正幼稚園	1968	358	52					
8	正和北幼稚園	1995	404	25					
9	正和南幼稚園	1975	428	45					
10	成徳北幼稚園	1967	537	53		桑名市学校施設適正管理計画による。			
11	城南幼稚園	1964	376	56					
12	光陵幼稚園	1982	654	38					
13	陵成幼稚園	1994	463	26					
14	多度幼稚園	2003	979	17					
15	旧長島北部幼稚園	1973	673	47					
16	旧長島中部幼稚園	1976	975	44					
17	長島幼稚園	1971	645	49					

（幼稚園の計画、方向性）

- 第１期就学前施設再編実施計画（平成 25 年策定）を終え、現在 11 園ある公立幼稚園を最終５園とする第２期再編実施計画の策定を目指します。
- 再編により閉園となった施設は、学校敷地内の空きスペースを活用した開設を目指す学童保育所への転用を図ります。
- 転用しない施設については、速やかに売却や解体撤去に向けた準備を進め、資産の有効活用による財源の確保に努めます。

② 小学校

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	日進小学校	1968	4,280	52					
2	精義小学校	1961	3,809	59					
3	立教小学校	1969	4,451	51					
4	城東小学校	1994	3,492	26					
5	益世小学校	1969	5,570	51					
6	修徳小学校	1968	4,272	52					
7	大成小学校	1978	5,349	42					
8	桑部小学校	1975	3,719	45					
9	在良小学校	1970	5,117	50					
10	七和小学校	1971	5,268	49					
11	久米小学校	1972	4,514	48					
12	深谷小学校	1978	6,573	42					
13	城南小学校	1979	5,168	41		桑名市学校施設適正管理計画による。			
14	大和小学校	1971	3,558	49					
15	大山田東小学校	1978	7,179	42					
16	大山田北小学校	1981	4,951	39					
17	大山田西小学校	1984	3,941	36					
18	大山田南小学校	1990	4,045	30					
19	藤が丘小学校	1994	4,226	26					
20	星見ヶ丘小学校	2000	5,971	20					
21	多度東小学校	1976	2,492	44					
22	多度中小学校	1981	5,986	39					
23	多度北小学校	1981	2,803	39					
24	多度青葉小学校	1975	2,475	45					
25	長島北部小学校	1977	3,858	43					
26	長島中部小学校	1970	5,647	50					
27	伊曽島小学校	1978	3,698	42					

③　中学校

No	施　設　名　称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	成徳中学校	1966	6,701	54					
2	明正中学校	1963	7,787	57					
3	光風中学校	1976	6,755	44					
4	陽和中学校	1986	7,024	34					
5	正和中学校	1974	7,042	46		桑名市学校施設適正管理計画による。			
6	陵成中学校	1981	6,762	39					
7	光陵中学校	1988	5,906	32					
8	多度中学校	1974	6,741	46					
9	長島中学校	2003	9,017	17					

（小学校・中学校の計画、方向性）

- 平成 29 年４月「桑名市学校教育あり方検討委員会」からの答申を受け、桑名市に合った形で全市的に小中一貫教育を推進します。
- 将来的には各中学校区に施設一体型小中一貫校を設置し、小中一貫教育を推進します。
- 多度地区において、令和７年４月に施設一体型小中一貫校の開校を目指します。

④　その他教育施設

No	施　設　名　称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	多度学校給食センター	1991	659	29					
2	長島学校給食センター	1983	988	37		桑名市学校施設適正管理計画による。			
3	旧多度西小学校	1983	2,691	37	43	○	Ⅰ-A-1	738 (　0)	見直し
4	深谷教育集会所	2001	493	19	61	○	Ⅰ-A-1	472 (6,050)	長寿命化
5	深谷桑栄教育集会所	1982	206	38	42	○	Ⅰ-A-1	549 (5,150)	長寿命化
6	長島教育集会所	1982	302	38	42	○	Ⅰ-C-3	331 (14,426)	長寿命化
7	桑名市適応指導教室	2018	282	2	78	○	Ⅰ-A-1	新規	更新済

（その他教育施設の計画、方向性）

- 長島学校給食センターは、老朽化が進んでいる中、「桑名市学校教育あり方検討委員会」の検討結果を踏まえ、方向性を決定します。
- 多度学校給食センターは、多度地区施設一体型小中一貫校の令和７年度開校予定を踏まえ、関係各課、団体等との協議によりあり方を検討します。
- 旧多度西小学校については、多度地区施設一体型小中一貫校の令和７年度開校予定を踏まえ、他の廃校予定の小中学校や学校教育系施設と併せて、関係各課、団体等との協議によりあり方を検討します。
- 深谷教育集会所、深谷桑栄教育集会所、長島教育集会所は「人権文化を実現する地域づくり」の拠点施設として、より人権教育・啓発を推進できるように近隣にある他の施設とともに将来的なあり方を考えながら計画的な維持管理を行います。
- 桑名市適応指導教室は、平成 30 年９月に旧勤労青少年ホームの跡地に、施設規模を縮小して新たに整備しました。

（３） 生涯学習系施設

① 市民文化系施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	市民会館（管理棟）	2007	3,753	13	67	○	Ⅰ－A-1	29,832 (12,208)	長寿命化
2	市民会館（ホール棟）	1967	5,189	53	27	○	Ⅱ－B-3	管理棟に計上 (297,914)	長寿命化
3	新西方コミュニティセンター	2012	167	8	72	○	Ⅰ-A-1	94 (0)	長寿命化
4	多度北部コミュニティセンター	2008	323	12	68	○	Ⅰ-A-1	63 (0)	長寿命化
5	多度南部コミュニティプラザ	2002	536	18	62	○	Ⅰ-A-1	269 (0)	長寿命化
6	多度東部多目的集会所	1992	296	28	52	○	Ⅰ-C-3	251 (0)	長寿命化
7	長島駅前コミュニティセンター	1998	231	22	58	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	長寿命化
8	城南河川防災センター	2014	163	6	74	○	Ⅰ-A-1	64 (0)	長寿命化
9	長島防災コミュニティセンター	2007	1,629	13	67	○	Ⅰ-A-1	2,030 (0)	長寿命化
10	松蔭防災コミュニティセンター	2001	259	19	61	○	Ⅰ-B-2	71 (0)	長寿命化
11	水郷テラス	2005	292	15	25	○	Ⅱ-A-2	219 (0)	長寿命化
12	走井山会館	1978	55	42	-42	未診断	Ⅳ-D-7	0 (0)	見直し
13	陽だまりの丘　ほたるの里	2004	52	16	24	○	Ⅱ-A-2	19 (0)	長寿命化
14	パブリックセンター	1982	1,067	38	42	○	Ⅰ-A-1	2,132 (1,281)	長寿命化
15	日進まちづくり拠点施設	1998	346	22	58	○	Ⅰ-B-2	405 (0)	長寿命化
16	精義まちづくり拠点施設	2003	404	17	63	○	Ⅰ-A-1	593 (0)	長寿命化
17	立教まちづくり拠点施設	1986	334	34	46	○	Ⅰ-C-3	698 (10,017)	長寿命化
18	城東まちづくり拠点施設 (はまぐりプラザ)	2010	505	10	70	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	長寿命化
19	益世まちづくり拠点施設	1995	449	25	55	○	Ⅰ-B-2	720 (0)	長寿命化
20	修徳まちづくり拠点施設	1991	330	29	51	○	Ⅰ-A-1	319 (0)	長寿命化
21	大成まちづくり拠点施設	2000	368	20	60	○	Ⅰ-A-1	674 (0)	長寿命化
22	大和まちづくり拠点施設	1992	337	28	52	○	Ⅰ-C-3	509 (0)	長寿命化
23	長島まちづくり拠点施設	1980	2,371	40	40	○	Ⅰ-D-4	1,808 (64,230)	長寿命化
24	長島北部分館	1979	332	41	39	○	Ⅱ-D-5	200 (11,066)	長寿命化
25	桑部まちづくり拠点施設	1985	539	35	45	○	Ⅰ-C-3	640 (18,075)	長寿命化
26	在良まちづくり拠点施設	1988	711	32	48	○	Ⅰ-C-3	648 (2,200)	長寿命化
27	七和まちづくり拠点施設	1983	553	37	43	○	Ⅰ-C-3	726 (18,303)	長寿命化
28	深谷まちづくり拠点施設	1984	560	36	44	○	Ⅰ-C-3	559 (18,725)	長寿命化
29	久米まちづくり拠点施設	1985	539	35	45	○	Ⅰ-C-3	637 (18,370)	長寿命化
30	城南まちづくり拠点施設	1984	618	36	44	○	Ⅰ-C-3	641 (20,587)	長寿命化
31	伊曽島まちづくり拠点施設	1987	398	33	20	○	Ⅰ-C-3	238 (11,943)	長寿命化
32	長島伊曽島分館	1981	332	39	41	○	Ⅰ-D-4	229 (0)	長寿命化

（市民文化系施設の計画、方向性）

- 市民会館は、平成 19 年度にリニューアルを行いましたが、大ホールなど昭和 42 年建築当初の部分も残っているため、改修部分も含めて計画的な維持管理を行うことにより、長期間の活用を目指します。
- 大山田コミュニティプラザは、平成 30 年度の指定管理者制度の指定期間満了にあたり、運営方法の見直しを行うとともに、機能転換や複合化について検討します。
- コミュニティセンターなどの集会施設は、各地区における地域活動の拠点として、必要な集会機能を確保していきます。
- 水郷テラスは、予防保全型の維持管理により長寿命化を図りますが、ながしま遊館全体の利活用を検討する中で将来的なあり方について考えます。
- 走井山会館は、安全管理の面からあり方を検討します。
- その他の施設については、日頃の施設管理や運営などについて、より一層市民が主体となって活動できる場となるように、機能や運用の転換を図ります。
- パブリックセンターは、平成 31 年４月に公民館から機能転換し、生涯学習活動の拠点であることに加え、幅広いニーズに対応した利活用が可能な施設となっています。適切な維持管理を実施することにより施設の長寿命化を図ります。
- 平成 30 年 4 月に機能転換した、まちづくり拠点施設については、地域の実情を踏まえ地域と連携を図りながら、より使いやすく多様な活用ができる施設にすることを目指します。

② 社会教育系施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	ふるさと多度文学館	1996	1,722	24	56	○	Ⅰ-A-1	2,139 (1,120)	長寿命化
2	長島輪中図書館	2005	1,805	15	65	○	Ⅰ-A-1	2,944 (66,381)	長寿命化
3	長島ふれあい学習館	2005	1,493	15	65	○	Ⅰ-A-1	2,971 (0)	長寿命化
4	六華苑(旧諸戸清六邸)	1913	1,605	107	-107	未診断	Ⅳ-B-5	1,600 (19,326)	長寿命化
5	博物館	1952	1,067	68	12	○	Ⅲ-A-3	1,334 (6,323)	長寿命化及び見直し
6	石取会館	1990	178	30	50	○	Ⅰ-A-1	583 (0)	長寿命化
7	埋蔵文化財整理所	2001	366	19	61	○	Ⅰ-B-2	301 (0)	見直し
8	郷土館	1981	914	39	41	○	Ⅲ-B-4	103 (0)	見直し
9	多度陶芸館	1998	204	22	58	○	Ⅰ-D-4	163 (0)	長寿命化

（社会教育系施設の計画、方向性）

- 長島輪中図書館、長島ふれあい学習館は、予防保全型の維持管理により長寿命化を図りますが、ながしま遊館全体の利活用を検討する中で将来的なあり方について考えます。
- 博物館、石取会館などの文化財公開・収蔵施設については、歴史、文化を学ぶ学習施設、かつ桑名の歴史、ブランドを発信するより魅力的な施設とするためにそのあり方を検討します。また、文化財保管機能については、老朽化対策や安全性の確保の観点から、他施設の活用についても検討します。
- その他の施設については、必要に応じて複合化、機能転換を検討します。

③ スポーツ・観光施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	耐用年数（代表建物）	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	市体育館	1979	7,953	41	39	○	Ⅱ-A-2	1,666 (1,657)	長寿命化
2	総合運動公園	1995	1,426	25	55	○	Ⅰ-A-1	60,253* (34,757)	長寿命化
3	市民プール	1981	940	39	-39	未診断	Ⅳ-A-4	22,332* (7,520)	長寿命化
4	多度体育センター	1977	1,254	43	37	○	Ⅱ-A-2	26,613* (78,250)	長寿命化
5	長島B&G海洋センター体育館	1983	1,102	37	43	○	Ⅰ-A-1	3,610 (68,766)	長寿命化
6	長島B&G海洋センタープール	1983	125	37	43	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	見直し
7	住吉浦休憩施設	2006	68	14	66	○	Ⅰ-B-2	15 (0)	民間活用
8	物産観光案内所	2005	13	—	—	—	—	—	ファーストステップ
9	情報交流施設「又木茶屋」	2001	130	19	61	○	Ⅱ-A-2	0 (3,888)	民間活用
10	長島水辺のやすらぎパーク	1879	310	141	-141	○(一部未診断)	Ⅳ-A-4	1,712* (1,516)	見直し
11	伊勢湾台風記念館	2000	276	20	60	○	Ⅰ-A-1	663 (2,000)	長寿命化
12	多度峡天然プール休憩所	2003	100	17	63	○	Ⅰ-A-1	3,354* (3,000)	見直し

（スポーツ・観光施設の計画、方向性）

- スポーツ施設は、年齢を問わず様々な方に利用され、健康増進や競技力向上など多彩なニーズへの対応が必要です。旧１市２町から引き継がれた各施設は老朽化が進んでいるため、民間施設の動向も踏まえながら総合運動公園の整備を進め、施設の集約化や機能充実に取り組みます。
- 観光施設は、市の観光施策などを踏まえ、運営形態の見直しや費用対効果の検証を行い、より有効な適正配置を目指します。また、民間企業や地域と連携して市の活性化を図っていくという観点から、施設のあり方を見直します。

④ その他生涯学習施設（令和２年 12 月 31 日現在）

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	大山田コミュニティプラザ	1994	2,652	26	54	○	Ⅰ-A-1	33,299* (551,616)	長寿命化
2	スター21	1998	1,498	22	58	○	Ⅰ-A-1	28,537* (0)	長寿命化
3	陽だまりの丘生涯学習交流センター「ぽかぽか」	2013	778	7	73	○	Ⅰ-A-1	15,676* (0)	長寿命化

（その他生涯学習施設の計画、方向性）

- 大山田コミュニティプラザは、平成 30 年度の指定管理者制度の指定期間満了にあたり、運営方法の見直しを行うとともに、機能転換や複合化について検討します。
- スター21、陽だまりの丘生涯学習交流センター「ぽかぽか」については、予防保全型の維持管理により長寿命化を図りますが、施設全体の利活用を検討する中で将来的なあり方（必要に応じて複合化、機能転換）を検討します。

（4）保健・福祉系施設

① 子育て支援施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	厚生館保育所	1972	607	48	32	○(一部×)	Ⅳ-D-7	1,088 (0)	見直し
2	厚生館別館保育所	1960	304	60	20	○	Ⅳ-C-5	509 (0)	見直し
3	山崎乳児保育所	1973	956	—	—	—	—	—	ファーストステップ
4	深谷保育所	1990	605	30	50	○	Ⅰ-B-2	1,084 (0)	見直し
5	桑陽保育所	2001	1,810	19	61	○	Ⅰ-B-2	1,433 (0)	見直し
6	城東保育所	1974	460	46	34	○	Ⅱ-A-2	1,013 (0)	見直し
7	深谷北保育所	1983	423	37	43	○	Ⅰ-A-1	50 (0)	休所中
8	多度保育所	1977	848	43	37	○	Ⅱ-A-2	722 (0)	見直し
9	長島中部保育所	2006	1,516	14	66	○	Ⅰ-B-2	520 (13,932)	見直し
10	長島中部学童保育所	2006	243	14	66	○	Ⅱ-A-2	13 (0)	長寿命化
11	星見ヶ丘学童保育所	2001	131	19	61	○	Ⅰ-A-1	418 (0)	長寿命化
12	久米学童保育所	2003	110	17	63	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	長寿命化
13	大山田学童保育所	2006	91	14	66	○	Ⅰ-A-1	22 (0)	長寿命化
14	大和学童保育所	1970	50	50	30	○	Ⅱ-B-3	0 (0)	長寿命化
15	旧益世幼稚園	1964	434	56	24	○	Ⅱ-A-2	868 (18,897)	長寿命化
16	旧大山田西幼稚園	1987	304	33	47	○	Ⅰ-A-1	146 (0)	長寿命化
17	旧大山田南幼稚園	1991	213	29	51	○	Ⅰ-A-1	36 (0)	長寿命化
18	旧日進幼稚園	1991	337	29	51	○	Ⅰ-A-1	315 (6,674)	長寿命化
19	深谷児童センター	1984	522	36	44	○	Ⅰ-A-1	435 (0)	長寿命化
20	深谷北児童センター	1985	329	35	45	○	Ⅰ-A-1	319 (0)	長寿命化
21	一時保育さんさんルーム	2005	75	—	—	—	—	—	ファーストステップ
22	子ども・子育て応援センター「キラキラ」	2011	860	9	71	○	Ⅰ-A-1	863 (0)	長寿命化
23	子ども・子育て応援センター「ぽかぽか」	2013	457	7	73	○	Ⅰ-A-1	12 (0)	長寿命化
24	ふれあいプラザ	1983	573	37	43	○	Ⅰ-A-1	98 (0)	長寿命化

（子育て支援施設の計画、方向性）

- 保育所は、子育て家庭を支え、女性がより活躍しやすい社会環境の整備を行い、待機児童ゼロを継続するため、更なる充実を図ります。そのため、施設の耐用年数の経過、耐震性や安全性の確保を考慮しながら、そのあり方について、さまざまな保護者のニーズに対応した休日保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実を念頭に施設の方向性を検討し、最適配置を行います。
- 学童保育所は、放課後の子どもの安全な居場所であり、子育て支援のために必要不可欠な施設であることから、学校の施設管理や施設整備とも整合性を図り、学校敷地内の空きスペースの活用や地域内の公共施設での複合化などにより、今後も整備、充実を図ります。
- その他の子育て支援施設については、親子の居場所づくりや相談、交流、情報発信など様々な子育て支援サービスを提供していることから、今後も適切な施設運営とサービス向上に努めます。
- すべての人が安心して暮らし続けられる明るい地域社会の形成に向けて、分野を超えた多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）の整備を促進します。

② 高齢福祉施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	清風園	1984	1,454	—	—	—	—	—	ファーストステップ
2	総合福祉会館	1980	2,794	40	40	○	Ⅰ－C-3	4,152 (114,024)	長寿命化
3	福祉センター	1993	2,159	27	53	○	Ⅰ－C-3	5,605 (115,709)	長寿命化
4	北部老人福祉センター	1986	926	34	46	○	Ⅰ－C-3	2,358 (34,404)	長寿命化
5	多度すこやかセンター	1992	3,185	28	52	○	Ⅰ－A-1	3,864 (99,372)	長寿命化
6	長島福祉健康センター	1989	2,308	31	49	○	Ⅰ－C-3	3,877 (144,045)	長寿命化
7	長島デイサービスセンター	2000	858	20	60	○	Ⅰ－A-1	3,877 (0)	長寿命化
8	筒尾地区宅老所「筒の和」	1979	37	41	-41	未診断	Ⅳ－B-5	0 (0)	長寿命化
9	精義地区宅老所「精和クラブ」	1968	54	52	28	○	Ⅱ－D-5	33 (0)	長寿命化
10	大山田地区宅老所「元気の宿」	1982	44	38	-38	未診断	Ⅳ－A-4	0 (0)	長寿命化
11	益世地区宅老所「さんさん」	1964	53	56	24	○	Ⅱ－D-5	0 (0)	長寿命化

（高齢福祉施設の計画、方向性）

- 宅老所は、健康で生きがいをもち、積極的に社会参加できるための環境整備がより重要となる中、施設の耐用年数の経過、耐震性や安全性の確保を考慮して、他の施設の活用など多機能化による効率的な運営形態について検討します。
- 大山田地区における公共施設再編の中で、総合的な地域包括支援センターを開設します。
- その他の高齢福祉施設については、現在導入している指定管理者制度のあり方を検証する中で、適正配置、適正規模、施設の必要性について考え、複合化や機能転換など施設の有効活用を図ります。
- すべての人が安心して暮らし続けられる明るい地域社会の形成に向けて、分野を超えた多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）の整備を促進します。

③ 障害福祉施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	療育センター	1975	510	—	—	—	—	—	ファーストステップ
2	ひまわりワークス	1996	263	24	56	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	見直し
3	ワークルーム桑友	1971	135	49	-49	未診断	Ⅳ-C-5	0 (0)	移転
4	ワークショップみらい	2002	120	18	62	○	Ⅰ-A-1	94 (0)	見直し
5	ほのぼのルーム	1974	79	46	-46	未診断	Ⅳ-C-5	0 (0)	廃止
6	わーくびれっじみのり	1964	189	56	-56	未診断	Ⅳ-C-5	52 (0)	移転

（障害福祉施設の計画、方向性）

- 障害福祉施設は、すでに耐用年数が到来している施設がある中、日常的に使用する施設であることを考慮し、耐震性や安全性の確保も視野に入れ、複合化や多機能化などによる他の施設の活用を含め、あり方を検討します。
- 市の果たすべき役割を踏まえながら、必要機能の維持・充実を前提としたうえで施設ニーズの高さや専門性を考慮し、民間事業として独立した運営が可能なものについては、条件が整い次第、譲渡も視野に入れた効果的な運営を進めていきます。
- すべての人が安心して暮らし続けられる明るい地域社会の形成に向けて、分野を超えた多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）の整備を促進します。

④ その他保健・福祉施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	深谷市民館	1990	501	30	50	○	Ⅰ－A-1	433 (100,160)	長寿命化
2	深谷桑栄市民館	1981	346	39	41	○	Ⅰ－A-1	274 (10,384)	長寿命化
3	深谷共同浴場（さざれ湯）	1965	376	55	25	○	Ⅱ-B-3	3,224 (15,910)	長寿命化
4	松ヶ島共同浴場	1972	108	48	32	○	Ⅱ-A-2	512 (0)	長寿命化
5	応急診療所	1983	165	37	43	○	Ⅰ-A-1	ふれあいプラザに計上	長寿命化
6	旧多度福祉会館	1978	354	42	-42	×	―	0 (0)	見直し

（その他保健・福祉施設の計画、方向性）

- 応急診療所は、計画的な修繕・改修等により長寿命化を図ります。
- 旧多度福祉会館は、現在閉鎖しており、耐震性を満たさず老朽化していることから、売却等の可能性について調査を進めます。
- その他福祉施設については、当面は適切な維持管理を行いますが、施設における事業を整理し、老朽化や地域性を十分考慮したうえで、時期を捉えて見直しを進めていきます。

（５） 産業系施設

① 産業系施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持（中長期）千円	施設の状況及び方向性
1	サンファーレ北館	2005	1,402	―	―	―	―	―	ファーストステップ
2	漁業交流センター	2010	713	10	70	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	見直し
3	多度自然休養村管理センター	1981	629	39	-39	未診断	Ⅳ－D-7	0 (0)	見直し
4	アイリスパークふれあい農園施設	1999	180	―	―	―	―	―	ファーストステップ
5	輪中の郷	1993	3,308	27	53	○	Ⅰ-A-1	2,210 (221,265)	長寿命化
6	長島市民農園施設	2004	223	―	―	―	―	―	ファーストステップ

（産業系施設の計画、方向性）

- 多度自然休養村管理センターは、平成 28 年４月から休止しているため、施設の処分を進めます。
- その他の産業系施設は、採算性を検証するなど事業を整理し、必要性を明確にしたうえで、適正な維持管理の継続、さらに民間への売却を含めた有効活用を検討します。

（6） 市営住宅

① 市営住宅

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト維持(中長期)千円	施設の状況及び方向性
1	市営伊賀町住宅	1994	1,208	26	54	○	Ⅰ-A-1	717 (38,240)	長寿命化
2	市営羽田町第1住宅	1965	1,122	55	25	○	Ⅱ-D-5	404 (98,810)	用途廃止
3	市営羽田町第2住宅	1966	658	54	26	○			用途廃止
4	市営羽田町第3住宅	1967	1,316	53	27	○			用途廃止
5	市営羽田町第4住宅	1968	997	52	28	○			用途廃止
6	市営岳見町住宅	1993	1,728	27	53	○	Ⅰ-A-1	1,089 (53,840)	長寿命化
7	市営額田住宅	1984	989	36	44	○	Ⅰ-A-1	1,141 (0)	見直し
8	市営吉之丸住宅	1977	1,785	43	37	○	Ⅱ-A-1	972 (2,000)	見直し
9	市営桑栄団地	1980	13,038	40	40	○	Ⅰ-A-1	13,600 (83,530)	長寿命化
10	市営桑部住宅	1975	2,203	45	35	○	Ⅱ-A-2	2,719 (48,020)	長寿命化
11	市営元赤須賀住宅	1972	1,186	48	32	○	Ⅱ-A-2	478 (0)	見直し
12	市営秋葉町住宅	1984	636	36	44	○	Ⅰ-A-1	1,431 (0)	見直し
13	市営新屋敷住宅	1973	3,437	47	33	○	Ⅱ-A-2	2,163 (0)	見直し
14	市営新築住宅	1970	1,816	50	30	○	Ⅱ-C-4	805 (0)	用途廃止
15	市営深谷住宅	1962	298	58	22	○	Ⅱ-A-2	109 (0)	用途廃止
16	市営西森忠住宅	1989	4,214	31	49	○	Ⅰ-A-1	2,304 (47,170)	長寿命化
17	市営川成町住宅	1982	1,481	38	42	○	Ⅰ-A-1	1,408 (0)	見直し
18	市営双葉町住宅	1969	1,144	51	29	○	Ⅱ-D-5	222 (0)	用途廃止
19	市営第1東南町住宅	1974	643	46	34	○	Ⅱ-A-2	322 (0)	見直し
20	市営築地町住宅	1968	948	52	28	○	Ⅱ-A-2	1,170 (0)	見直し
21	市営東新町住宅	1979	5,554	41	39	○	Ⅰ-A-1	2,802 (0)	見直し
22	市営日進町住宅	1972	1,161	48	32	○	Ⅱ-A-2	495 (0)	見直し
23	市営日物谷住宅	2003	2,943	17	63	○	Ⅰ-A-1	3,326 (0)	見直し
24	市営芳ヶ崎住宅	1986	3,149	34	46	○	Ⅰ-A-1	1,424 (1,000)	見直し
25	市営柚井住宅	2003	579	17	63	○	Ⅰ-A-1	340 (0)	見直し
26	市営夕日ヶ丘住宅	1992	1,964	28	52	○	Ⅰ-D-4	1,740 (19,762)	長寿命化
27	市営吉野町改良住宅	1983	4,041	37	43	○	Ⅰ-A-1	4,603 (123,230)	長寿命化
28	市営高砂町改良住宅	1984	1,128	36	44	○	Ⅰ-A-1	665 (0)	見直し
29	市営桜木町改良住宅	1984	566	36	44	○	Ⅰ-A-1	511 (0)	見直し
30	市営秋葉町改良住宅	1984	161	36	44	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	見直し
31	市営十日外面改良住宅	1979	287	41	39	○	Ⅰ-A-1	0 (0)	見直し
32	市営出口改良住宅	1979	1,089	41	39	○	Ⅰ-A-1	932 (32,380)	長寿命化
33	市営松ヶ島改良住宅	1985	342	35	45	○	Ⅰ-A-1	597 (0)	見直し
34	市営深川町改良住宅	1984	970	36	44	○	Ⅰ-A-1	755 (0)	見直し
35	市営西外面改良住宅	1979	216	41	39	○	Ⅰ-A-1	10 (0)	見直し
36	市営川崎改良住宅	1985	323	35	45	○	Ⅰ-A-1	451 (0)	見直し
37	市営第2築地町改良住宅	1984	969	36	44	○	Ⅰ-A-1	430 (0)	見直し
38	市営築地町改良住宅	1979	1,924	41	39	○	Ⅰ-A-1	972 (42,410)	長寿命化
39	市営長侭改良住宅	1982	2,101	38	42	○	Ⅰ-A-1	2,176 (0)	見直し

（市営住宅の計画、方向性）

・公営住宅は、将来的な住宅確保要配慮者を設定し、市の直接供給は最小限に抑えながら計画的に修繕及び長寿命化を行います。また、入居制限をしている老朽化住宅の用途を廃止し、全体的な再編・集約化を進めます。

・ストック推計調査などにより、今後公営住宅の供給不足が見込まれる場合は、民間賃貸住宅の借上げや家賃補助、空き家住宅活用など民間活力の導入を検討します。

・改良住宅は、入居者の意向確認を行うとともに。譲渡の実現可能性を検討し、段階的な実施を目指します。

（7） その他施設

① その他施設

No	施 設 名 称	建築年度	延床面積（㎡）	経過年数	残存耐用年数（2020現在）	耐震性	総合評価代表建物	コスト 維持(中長期) 千円	施設の状況及び方向性
1	斎場(おりづるの森)	2010	7,091	10	70	○	Ⅰ-A-1	8,231 (269,877)	長寿命化
2	深谷共同墓地	1982	44	38	-38	未診断	Ⅳ-A-4	126 (0)	長寿命化
3	大型共同作業場	1983	576	—	—	—	—	—	ファーストステップ
4	南松ヶ島漁業協同組合共同作業所	1976	89	44	-44	未診断	Ⅳ-D-7	0 (0)	見直し
5	桑名駅北自転車駐車場	2006	2,899	14	66	○	Ⅰ-A-1	3,595 (0)	見直し
6	市営末広駐車場	2007	3,849	—	—	—	—	—	ファーストステップ
7	市民会館駐車場	2007	4,846	13	67	○	Ⅰ-A-1	市民会館に計上 (468)	長寿命化
8	庁舎南駐車場	2007	6,475	13	67	○	Ⅰ-A-1	市役所庁舎に計上	長寿命化
9	サンファーレ北館駐車場	2005	9,901	—	—	—	—	—	ファーストステップ
10	桑名南医療センター	1961	2,485	—	—	—	—	—	ファーストステップ
11	旧伊賀町応急排水ポンプ倉庫	1979	81	—	—	—	—	—	ファーストステップ
12	旧伊賀町診療所	1965	133	—	—	—	—	—	ファーストステップ
13	旧法務局	1971	451	49	-49	未診断	Ⅳ-A-4	0 (0)	見直し
14	旧伊曽島幼稚園	1972	729	—	—	—	—	—	ファーストステップ

（その他施設の計画、方向性）

・特に老朽化が進行し、耐震に不備がある施設については、維持管理コストや安全面などを考慮し、施設の処分を含めたあり方の見直し検討を進めていきます。

注） ・上記の各施設の現状と財政負担の見通しは平成 27 年度時点であり、各施設類型別の表及び計画、方向性については、令和２年 12 月 31 日現在であります。また建築年度は、施設の代表建物の建築年度を表記しています。

✧　インフラにおける施設類型別の取り組み

（１）　道路（道路、橋りょう、街路樹）の計画、方向性

- 幹線道路については、整備の必要性や整備内容を再検証し、必要なものに限定して計画的に整備を進めることにより、利便性の向上を図ります。
- 舗装については、平成 26 年度の道路ストック対策事業による点検結果に基づき、計画的かつ予防的な更新等を行います。
- 歩行者の安全確保のため、生活道路の整備を進めます。
- 橋りょうについては、法定点検を実施し、長寿命化修繕計画の見直しを行いながら、修繕、改修等を行います。
- 道路改良事業、開発事業等に伴う路線の更新、修繕履歴等、道路台帳の整備は恒久的に行うものであることから、電子システム化により、一層の効率化を図ります。
- ＩＣＴ技術をはじめ国等の新技術の導入事例を参考に、実情に応じた費用対効果が期待できる技術については、活用について検討します。
- 道路パトロールなどの日常点検を強化して、応急的な修繕や改修を行うことにより、事故の未然防止に努めます。
- 全ての道路、橋りょうを一律の仕様や基準に基づき維持管理するのではなく、安全性を確保しつつ、重要性に応じた維持管理を実施するリスクベースメンテナンスの考え方を導入します。
- 樹木の成長、本数の増加などのコストが増えている街路樹の維持管理については、高木から中・低木への植栽変更など、長期的な視点による対策を検討します。
- 新規路線など整備にあたっての植樹については、維持管理の視点から樹種の選定を行います。
- 樹木の大径化に伴い信号・標識・街路灯の視認障害、根上がりによる縁石・舗装等の損傷、防犯対策が課題となっています。これらを改善していくため、維持管理計画を策定し、省インフラや公民連携について検討します。
- 街路樹の台帳化を進め、計画的な維持管理を行います。

（２）　都市公園の計画、方向性

- 「緑の基本計画」に基づき、平成 37 年度末に人口一人当たり 8.48 ㎡/人の確保を目標に、現在整備中の総合運動公園に加え、（仮称）堂ヶ峰公園及びくすのき園運動防災公園等の整備を進めます。
- 公園樹木の見直しにより、維持管理費用の削減に努めます。
- 安全確保ため、緊急性の高いものから優先的に修繕を行い、事故の未然防止に努めます。
- 日常の維持管理については、公民連携による協働を進めるため、引き続き住民意識の高揚を図ります。

（３）　上水道の計画、方向性

- 水道の効率的、安定的な供給のため、桑名市上水道事業基本計画に基づき、旧桑名市、多度町、長島町に分かれている給水区域の統合や水道管理の一元化を進めます。
- 基幹管路については、平成 36 年度の耐震化率の目標値である 34.9%を目指し、更新を進めます。
- 重要給水施設への管路の耐震化率については、平成 36 年度末に 100%となるよう、更新を進めます。
- 耐震性が不足する基幹施設については、診断結果に基づき計画的な地震対策を行います。
- 機械器具類のオーバーホールの実施や、効率的、計画的な改築事業により機能維持に努め、ライフラインの効率的、効果的な整備や維持管理を行います。
- ストックマネジメントによる計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ります。
- 熟練した技術をシステム化し、次世代へ継承することにより、事業の安定化を目指します。
- 事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し、災害等の緊急事態に備えます。

（４） 下水道の計画、方向性

- 浸水被害の防止と生活環境の改善、公共水域の水質保全を図るため、加速度的に下水道整備を進めます。
- 平成 38 年度における下水道普及率の目標値を 90%と定め、日本下水道事業団への委託及びコストキャップ型下水道により、下水道網の整備を進めます。
- 下水道長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を行います。
- 下水道台帳の電子化を進め、業務の効率化を図ります。
- 多度北地区の農業集落排水施設は、公共下水道区域として編入し、効率的な汚水処理を行います。その他の施設については、下水道の整備状況を踏まえ、編入について検討します。
- 既存の下水道処理施設については、ストックマネジメント計画を策定し、設備の更新、長寿命化を図り効率的な維持管理に努めます。
- 事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し、災害等の緊急事態に備えます。
- 下水道未接続世帯への戸別訪問による普及啓発に努め、接続率の向上を図ります。

（５） 排水施設の計画、方向性

- 農家組合をはじめ地元関係団体との連携により、親水、景観に配慮した施設の維持管理や整備を行い、湛水被害の防止に努めます。
- 老朽化した施設については優先順位に基づき計画的な更新を図ります。また、既に実施した耐震調査の結果を踏まえ、順次、耐震補強工事を実施します。
- ストックマネジメントによる計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ります。
- 設備台帳と資産管理台帳を整備し、データの整合性を図ります。
- 国及び三重県など関係機関、団体との連携を図り、より効率的、効果的な内水対策を行います。

（６） 農道の計画、方向性

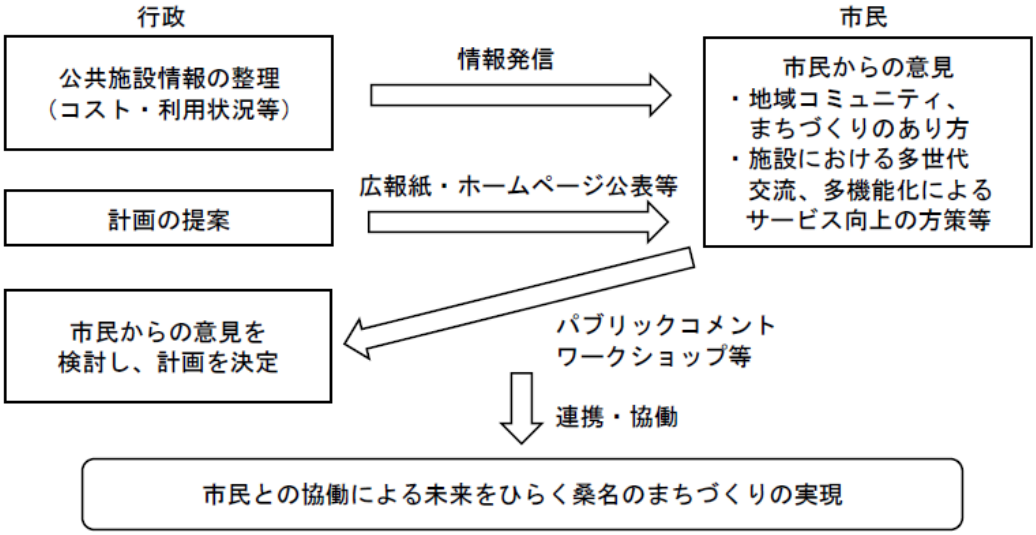
- 一定要件を満たす農道については、地元との協力により舗装を行うなど、状況に応じた維持管理を行います。
- 農道台帳により計画的、効率的な維持管理を行います。

第３章　フォローアップの実施方針

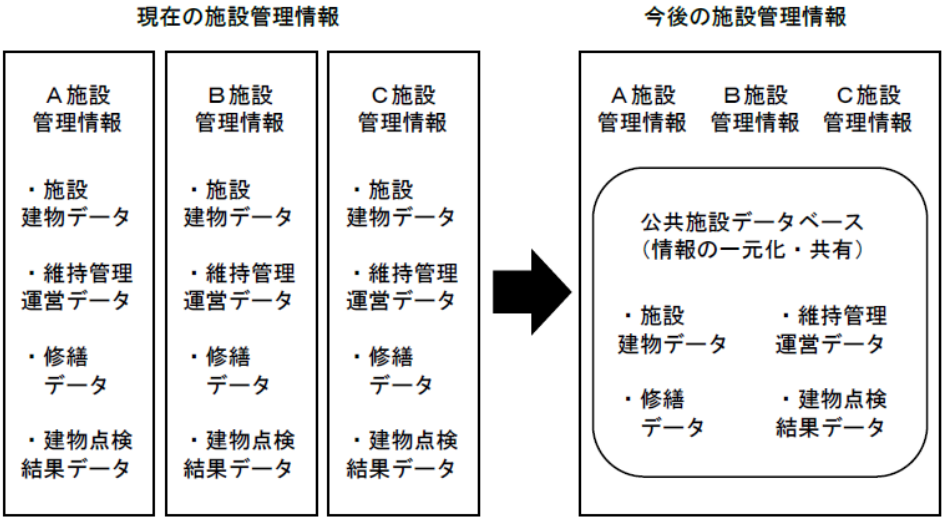
１．公共施設等マネジメントの推進にあたって

(1) 市民や議会等との情報共有、市民との協働による最適配置の推進

- パブリックコメント、ワークショップなどによる市民参加
- ホームページ、広報紙などによる情報の提供、共有

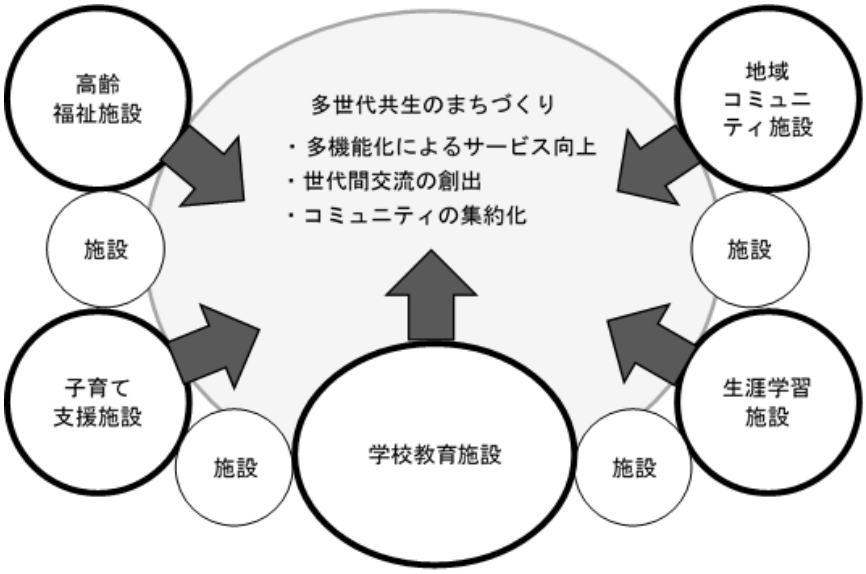


⑵ 全庁的に計画を推進するための庁内組織の構築
・管財/営繕、財政、行政改革/企画各部門を中心とした全庁横断的な連携、協力
・財政運営、予算編成と連動した計画の推進
⑶ ＰＤＣＡサイクルに基づく維持管理・運営の推進
・ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理の実施
⑷ 職員研修等による意識の向上
・講演会や研修などによる、施設経営のあり方やコストに対する意識の啓発
⑸ 情報を一元管理する仕組みづくり
・施設情報のデータベース化、公開
・固定資産台帳などとの連動



⑹ 広域的な連携
・国、県、近隣自治体など、行政区域を越えた公共サービスの提供

２．より効果的な推進のために
⑴ 施設使用料の見直し
・施設の利用実態と受益者負担を踏まえた適正な施設使用料の設定
⑵ 民間活力（ＰＰＰ／ＰＦＩ）導入の推進
・民間の資金やノウハウを活用したサービスの提供
⑶ 市有財産の利活用
・計画実施に伴い生じる余剰資産、未利用財産の積極的な利活用の推進

３.「未来をひらく桑名のまちづくり」の継続的な取り組みに向けて

・公共施設の複合化・集約化により、施設の機能を最大限に引き出し、新しい地域コミュニティを創出します。